

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府結核予防会新病院建設工事	階数	地上6F
建設地	大阪府寝屋川市打上高塚町	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年12月12日
敷地面積	5,950 m ²	作成者	(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所
建築面積	2,249 m ²	確認日	2019年12月12日
延床面積	9,922 m ²	確認者	(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所 森本 忠生



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 97%
③上記+②以外の 97%
④上記+ 97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

音環境	3.0
温熱環境	3.3
光・視環境	3.2
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7

機能性	4.3
耐用性	3.1
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.9

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	4.6
自然エネ	3.0
設備システ	2.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.1
地域環境	3.0
周辺環境	3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	隔絶されず周囲を感じられ、地域にひらかれた施設とし、身近な存在となり地域・社会・街とのつながりを強化した病院としている。 良好な室内空間の確保と共に環境にやさしい病院としている。	その他 特に無し
Q1 室内環境	内装材は全てF☆☆☆☆を使用。細かな空調ゾーニングの上、ゾーン別に冷暖房の選択可能であり、居住者が安全で快適に過ごせるような環境を目指す。	Q3 室外環境(敷地内) 建物内に光庭や屋上テラスを設けることにより、建物内外を連関させる豊かな中間領域を形成し、建物居住者が室内からも緑を感じられる空間提供をしている。
LR1 エネルギー	LED照明を採用し設備システムの効率化に寄与している。	LR3 敷地外環境 適切な量の自転車置き場と駐車スペースの確保、導入路への配慮等交通負荷抑制に努めている。
Q2 サービス性能	一床当たり十分な広さが確保されており天井高も2.5m以上と居住者が快適に過ごせるように配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	躯体の仕上材が容易に分別可能、躯体材料及び躯体材料以外においてリサイクル材を使用するなど、部材の再利用向上に取り組んでいる。また節水型機器・擬音装置の設置により資源の有効利用に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0124

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	大阪府結核予防会新病院建設工事					
		建設地	大阪府寝屋川市打上高塚町					
		用途/区分	病院					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					2		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.1	3		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.6	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			2.2	2		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		特に無し						